

■グリーンコープでんき

・グリーンコープでんきの契約数は、5月7日現在、生協事業所やGC商品のお取引先も含め、下表のとおりです。(※供給開始前含む)

単協	契約件数	契約容量(kW)
GC生協おおさか	52	225kW
GC生協ひょうご	22	109kW
GC生協とっとり	35	149kW
GC生協(島根)	56	224kW
GC生協おかやま	68	272kW
GC生協ひろしま	91	401kW
GCやまぐち生協	565	2,321kW
GC生協ふくおか	1,745	7,248kW
GC生協さが	92	427kW
GC生協(長崎)	132	544kW
GC生協くまもと	457	2,051kW
GC生協おいた	269	1,061kW
GC生協みやざき	132	470kW
GCかごしま生協	213	903kW
事業所向け(低圧)	9	41kW
事業所向け(高圧)	52	4,256kW
合計	3,990	20,702kW

■グリーンコープでんきの一番の特徴は、先月供給した電気の電源が毎月分かることです。

・グリーンコープでんきは、グリーンコープ商品のひとつとして各家庭に供給しています。
 ・グリーンコープ商品が、原材料や製造方法がきちんと管理されているのと同じように、グリーンコープでんきも、供給している電気がどこで、どのような燃料を使い発電されたものかを、毎月のでんき利用明細書でご案内しています。
 ・利用明細書のスペースは限られているため、簡略化した案内となっておりますが、現在準備中のグリーンコープでんきのホームページでは、もう少し詳しい案内をする予定です。

■4月にお届けした電気の電源は？

・関西電力エリアは大阪府の清掃工場(燃料:一般ゴミ)の電気を100%
 中国電力エリアは島根県のバイオマス発電所(燃料:木材チップ)と清掃工場(燃料:一般ゴミ)の電気を43%、57%の比率で
 九州電力エリアは福岡県、鹿児島県、兵庫県の清掃工場(燃料:一般ゴミ)計4ヶ所の電気を、それぞれ52%、1%、47%、0.0001%の構成比でお届けしました。
 ・4月9日、九州電力エリアで電気がわずかに不足(77kWh)したため、兵庫県の清掃工場から電気を融通供給し、原発フリーの電気を4月も実現しています。

■市民発電所

・グリーン・市民電力が保有している発電所の2017年4月から2018年2月までの実績です。6箇所の発電所は順調に稼働しています。

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)
神在太陽光発電所	1,057	1,193,950	47,758,000
平池水上太陽光発電所	1,260	1,482,402	53,366,472
深年太陽光発電所	1,550	599,028	21,565,008
若宮物流センター	47	47,212	1,746,844
広島物流センター	47	51,956	1,922,372
やまぐち西部地域本部	54	53,918	1,779,294
合計	4,015	3,428,466	128,137,990

■グリーン電力出資金

・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込んでいただいた額)は、8億4,127万円になりました。
 ・また、出資目標額(積み立て目標額)は、4月25日現在で10億9,322万円となりました。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
GC生協おおさか	226	253	18,530,000
GC生協ひょうご	105	127	8,716,000
GC生協とっとり	140	149	10,250,000
GC(島根)	218	224	10,340,000
GC生協おかやま	157	171	12,050,000
GC生協ひろしま	662	753	69,785,000
GCやまぐち生協	614	707	44,580,000
GC生協ふくおか	5,317	5,991	519,164,000
GC生協さが	329	365	43,915,000
GC生協(長崎)	585	642	56,895,000
GC生協くまもと	1,509	1,691	125,379,000
GC生協おいた	792	874	69,874,000
GC生協みやざき	306	340	27,625,000
GCかごしま生協	711	777	76,112,000
合計	11,671	13,064	1,093,215,000

・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費用などの一部に充てています。
 ・2018年4月末の支出総額は8億1,115万円で、残高は3,012万円となっております。
 ・市民発電所の建設について、継続して調査や検討をすすめていますので、今後ともグリーン電力出資へのご参加をよろしくお願いいたします。

これまで出資いただいた金額	841,266,000
これまで支出した事業と金額	811,148,221
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱パイナリー電所(建設中)ながわ小水力発電所(建設中)、しましま小水力発電所(準備中)、霧島太陽光発電所(準備中)、熊本菊池太陽光発電所、国東第二自然電力太陽光発電所	
グリーン電力出資金の残高	30,117,779



♣グリーン電力出資金出資者
 ♣グリーンコープでんき利用者 の皆様

グリーンコープでんき通信 VOL.11

2018年5月28日発行
 一般社団法人グリーン・市民電力



4月21日
 (土)

ながわ小水力発電所(長野県松本市奈川) 安全祈願祭が執り行われました!!

「ながわ小水力発電所」の建設に向けた検討が始まったのは、2016年末からでした。遠く離れた長野県での小水力発電所づくりは、自然エネルギーの推進や地域活性化に思いを持った「さとやまエネルギー(株)」とのコミュニケーションを豊かにしていくことで実現へと向かうことができたと言えます。

検討をすすめるにあたって、グリーン・市民電力は、さとやまエネルギー(株)と「ながわエネルギー合同会社」を設立し、その中でさまざまな課題をクリアしてきました。まだまだ乗り越えなければならないことが多くありますが、やっと安全祈願祭へとたどりつくことができました。安全祈願祭には、ながわエネルギー合同会社関係者や地域の皆さん、工事関係者ら約40人が参列。抜けるような青空の下、厳かに式が執り行われました。

グリーンコープからは、熊野共同体代表理事、山本ひょうご理事長、三原ふくおか理事長、下本地かごしま理事長、事務局2人の6人が参列しました。



挨拶をする熊野共同体代表理事

・遠く離れた長野県でグリーンコープの脱原発の思いを実現できることがうれしい。
 ・一緒に小水力発電事業を行うさとやまエネルギーの皆さんとの出会いをおして、地域の皆さんとも出会いにつながった。これはグリーンコープの大切な宝もの、今後も守り育てていきたい。

【ながわ小水力発電所】

- 定格出力…700kW
- 約800世帯相当を発電(300kWh/月/世帯で換算)



ながわ小水力発電所ができる堰堤と河川の風景

「原発フリー」をめざす“グリーンコープでんき”。それなのに、大手電力会社に支払う「託送料金（電線使用料）」には、原発に使われる費用が含まれています。それは不自然でおかしくないかと考え、九州電力にどうしてそうなるのか、お尋ねしています。《その11》

2020年4月から、託送料金の中に、原発のための新たな負担金として、「賠償負担金」「廃炉円滑化負担金」という2つが新たに転嫁されることが、経済産業省内で決められようとしています。

＜シリーズ第5回＞

今号から、経済産業省が新たに国民に負担を求めようとしているもののうち「廃炉円滑化負担金」の話に入ります。まず、それが必要とされる「説明」について、疑問に思うことです。経済産業省に次のように、お尋ねしています（一部省略しています）。

(一) これも貴省からの『中間とりまとめ』と「意見集約結果への応答」に即してお尋ねをします。「意見集約結果」のNo.184に中部電力浜岡原発のことが記されていました（既に廃炉を決定し作業に着手している中部電力浜岡原発1、2号機は特別損失を計上して廃炉を進めてきたが、同社は破綻することなく、電気料金が他社に比べて値上がりすることもなく、堅実に経営を行っている。なぜ、他社での原発廃炉が中部電力のようにできないのか）が、貴省からの応答が記されていませんでしたので、自分たちで調べてみました。次のような内容と理解しました。

- 1) 中部電力浜岡原発1、2号機は2008年に廃炉決定、30年かけて完了の計画となっており、毎年その進捗が有価証券報告書に記載されている。
- 2) また、2015年10月の参議院で貴省から次の報告があっている。
 - ・浜岡原発廃止措置費は840億円。
 - ・中部電力2008年度特別損失額は1,536億円となっている。

(二) 理解を深めるために以下を教えてください。

- 1) 中部電力の有価証券報告書を当たったことがないので具体的な額は分かりませんが、2008年当時は年次事業経費として「原子力施設解体費」を計上し、その積み上げを「原子力施設解体引当金」として負債にしていたので、中部電力はその「原子力施設解体引当金」を取

り崩して上の1,536億円を特別損失処理されたと思いますが、それで間違いはないでしょうか。

- 2) その場合、廃止措置費とされる840億円はどうなったのでしょうか。
- 3) いずれにしても、上のNo.184の方の意見にあるように、このことによって中部電力の経営は破綻しなかったというのは間違いがないのでしょうか。

(三) 会社が事業に使ってきた施設を廃止するのに必要な費用はその会社が負担するというのは、別段に力説せずとも、私たちが生きる社会でごく当然の事柄であると思います。そのこと自体を貴省が否定しているとも思えません。

しかしながら、2011年3月11日の東京電力福島第一原発事故が起きて以降、「廃炉会計制度」が2013年度に設けられたことや、その「制度を維持するため」に、今般「2020年度からは廃炉円滑化負担金という負担金を新設しそれを託送料金に含めるようにする」ということは、私たちが生きるこの社会にあるごく当然の事柄を否定して、会社とその事業のあり方とルールを歪めてしまうもののように思えてなりません。この点についての貴省のお考えを教えてください。



(四) つづけて、貴省からの次の説明について、おかしいと思われる点があります。

- 1) 貴省の説明はつぎのとおりでした。

「通常の廃炉作業に要する費用等は、原則として原子力事業者が負担すべきものと考えております。

一方で、廃炉会計制度は、自由化により競争が進展した環境下においては、廃炉に伴って一括して巨額な費用が生じることにより、事業者の合理的な廃炉判断が歪んだり、円滑な廃炉の実施に支障を来し、原発依存度の低減が進まないといった懸念に対応するため、規制料金による費用の着実な回収を前提として措置したものであり、今回の措置は、2020年にも小売の規制料金が撤廃されることを見据え、制度の継続に必要な費用に限り託送料金の仕組みを利用して回収する措置を講ずることとしたものです。

したがって、当該費用を原子力事業者が負担すべきという原則を変更するものではなく、原発依存度の低減、廃炉の円滑な実施といったエネルギー政策の目的を達成するために必要な例外的な措置であると考えております。」

- 2) しかし、電気自由化は2000年からスタートしたわけで、2013年になって今更ながら、「廃炉に伴って一括して巨額な費用が生じることにより、事業者の合理的な廃炉判断が歪んだり、円滑な廃炉の実施に支障を来し」等とよくも言ってくれたいと思います。端から原発の廃炉には巨額なお金がかかることは分かっていたはずで、自由化も20年以上も前から「やる」と決めていたものです。今更ながらに「自由化により競争が進展した環境下においては」という前提を立てて、それが課題と言うのはく取ってつけた理由だと思います。事実、自由化によりどの程度必要が出てくるか、数値的な根拠や情報は何も示されていません。
- 3) 加えて、東京電力福島第一原発事故に限らずとも、そもそも「原発は危ない」わけで、それが一定の年限が経って老朽化したら、論を待たずに、問答無用に、廃炉に向かわないといけないわけであり、そうであるのに「事業者の合理的な廃炉判断が歪んだり、円滑な廃炉の実施

に支障を来し」などと言ってもよいものでしょうか。生命（いのち）が一番大事で、次にお金大事と私たちは思います。貴省も生命（いのち）を軽んじているのではないと私たちは信じます。

4) そして、電力会社とその利益当事者総括原価方式に守られて膨大なお金を利用者からもらって、たくさんの利益を配分してきたはずで、絶対に必要になる廃炉費用は備えておくべきで、それが安全基準が厳しくなって廃炉が必然的に求められて予定よりお金の準備が足りなさそうになっても、だからと言って「原発事業者の合理的な廃炉判断が歪んだり、円滑な廃炉の実施に支障を来し」などと廃炉を「人質」に取るような理屈付けをして「廃炉会計制度」のような社会のルールを捻じ曲げるような措置をするのではなく、これも正面からまっすぐに、国民に向かって「廃炉には膨大なお金がかかるとあらためて知った。申し訳ない。お金が足りなくなる。」とお詫びがあり、「どのようにお金をつくれるかを話しあってほしい」と呼びかけがされ、その前提となる責任がきちんと明示された上で、初めて「どうするか」を考えていけるものになるのではないのでしょうか。それらが全くなされていません。「廃炉会計」の措置化自体にそうした瑕疵があり、その廃炉会計の維持のために今度は「廃炉円滑化負担金」を作り出す、というのはおかしいと考えます。

5) さらに貴省は昨年、有識者委員会で「エネルギー基本計画について」の議論を始めておりますが、今後の原発の新増設の声もあがっていると言われております。そのような新増設の計画化にあたっては、最初から「廃炉の費用が足りない」と言って、この「廃炉会計」や「廃炉円滑化負担金」の考えを適用されるつもりなのではないでしょうか。ないしは、新増設計画化にあたっては、明確に「廃炉」の最終的な想定額を試算して提示するつもりなのではないでしょうか。

6) 以上の2)～5)に示す疑問について、貴省の説明を聞かせてください。

